

3. 安全な農産物の生産および環境と調和のとれた農業生産の取組に対する支援

環境調和型農業の推進

【環境こだわり農業の推進】

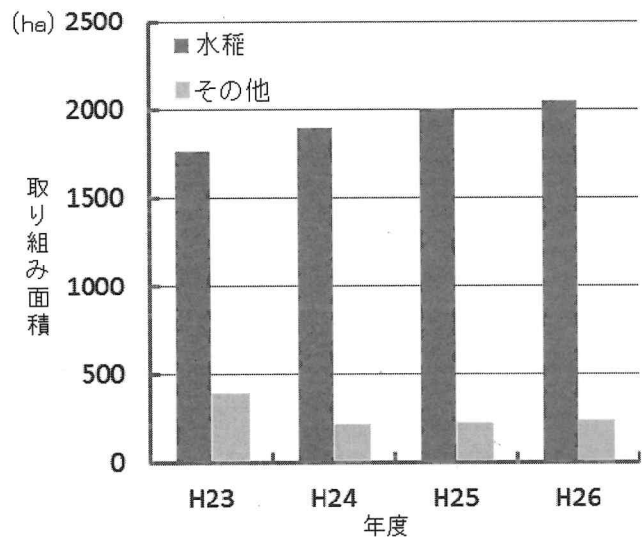
甲賀管内における環境こだわり農産物の取組みは、水稻を中心として着実に定着しつつあり、平成25年度水稻では作付面積の64.5% (2,000 ha) まで伸びできました。本年度は県育成品種「みずかがみ」の作付けが24haから147haまで拡大したこともあり、作付面積の65.7% (2,047 ha) と微増しました。

平成27年度にはJAこうか特別栽培米のなかに、「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」に加え、「みずかがみ」が取り上げられることになり、今後も環境こだわり農業の普及拡大が期待されます。

一方、園芸品目については取組みの推進が遅れていますが、環境こだわり農業が推進されるよう技術支援を行っていきます。



環境こだわり農産物として栽培されている「みずかがみ」



環境こだわり農業取組み面積の推移

【農業排水対策の強化】

代かき、田植時に発生する農業濁水対策について、巡回パトロールを4月中旬から5月中旬にかけて田園振興課とともに延べ24日間実施しました。特に、例年透視度が最低値を記録している坊谷川を重点河川と位置づけ、従来のポイントに加え、上流に1か所調査地点を設け、関係する周辺の水田について圃場ごとの落水状況を確認しました。あぜ塗りが不十分で濁水が越流しているほ場では営農組合を通じて改善を促すなど濁水防止の強化を図りました。(志和、古山)